



あしたに向かって～行くのが楽しくなる学校～ 【命の教育を行いました】



1年生：「あたらしいいのち」

赤ちゃんの産声は命の音。植物の芽や動物の赤ちゃんの様子から、命の声を心で想像し、考えることができました。小さな命も大切にしていきたいという気持ちをもつことができました。



2年生：「ぼく」

ぼくの好きなものはたくさんあるけど、一番好きなものは「ぼく」。なぜ「自分」が好きなのかを考える中で、自分が生きているからこそ好きなことができると気付きました。だからこそ自分の命も友だちの命も大切にしていきたいという気持ちをもつことができました。



3年生：「いのちがおわるとき」

ある日、みんなと一緒に過ごしていた男の子が白血病と診断されました。病気と闘いながらも懸命に生きるその姿から、児童は、健康でいられることや、仲間と共に過ごせている日々は、当たり前ではなくありがたいことだと深く感じることができました。



4年生：「ぼくの生まれた日」

ドラえもんの「ぼくの生まれた日」というお話を教材に、自分に向けられている家族の愛情を考えました。授業の後半では、おうちの方から内緒で書いておいてもらった手紙を一人一人が読み、自分が生まれた日の事や家族の思い、名前に込められた願いなどを知りました。



5年生：「命と向き合う人生」

動物管理センターで働いている坂本尚志さんから命についての話を聞き、動物の命や自分の命の大切さについて改めて考えるとともに、命を大切にしていきたいという気持ちをもつことができました。



6年生：「たった一つの命だから」

骨のがんによって右腕を失った西尾誉佳さんのお話を聞きました。残されたわずかな時間でも、誰かのために行動しようとする姿から、今ある命をより大切にし、悔いのないように精一杯生きていきたいという気持ちをもつことができました。



たんぽぽ学級：「すてきなおくりもの」「あなたのことがだいすき」「生き物たちの命」

生き物の命、自分や友だちの素敵なところ、小さい子どもを想う母の気持ちから「いのち」を考えることができました。自分の命、友だちの命を大切にすることを学びました。